こんにちは 日本共産党 横浜市議団です

日本共産党
横浜市会議員団
2013.05.22号
横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032　FAX　641-7100
E-mail:info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokomhama.com/

横浜市・保育所待機児童数ゼロに

入所保留児童は待機児童ではない？

横浜市は20日、今年４月１日現在の保育所待機児童数がゼロになったと発表しました。

入所申込者数は４万8,818人で昨年４月に比べて3,111人増加しましたが、入所児童数も3,740人増加し、申し込んでも保育所に入れなかった児童(入所保留児童)数は1,746人で、昨年４月比で629人減少しました。

横浜市は昨年度、74か所新設、31か所で定員を増やすなどで、認可保育所の定員を5,309人増やしました。また、市独自の基準で認証している横浜保育室も、６か所80人拡大しました。

入所保留児童1746人はどうなったのか

横浜保育室や家庭的保育に入所した児童が877人いますが、親が育児休暇(203人)、自宅で求職活動(100人)、特定の保育所のみの申し込み(566人)は待機児童数から除かれています。

横浜市によれば、横浜保育室の保育料は軽減助成によりほぼ認可保育所並みの保育料になったとされていますが、原則３歳児未満の受け入れで、ビルの一室で運営されている所も多いのが現状です。

また、保育所に入れずにやむを得ず育児休暇を延長したり、子どもを預ける所がなくて仕方なく自宅で求職活動をされている方もいます。

保育の量と質の両方が満たされるように

日本共産党横浜市議団の大貫憲夫団長は、次のように見解を発表しました。

保育所を増やせ、横浜保育室への助成を増やせと毎年要望し、それがある程度実現して、待機児童数が減ったのは評価できる。

しかし、本来、待機児童とは認可保育所の入所申込者数から入所児童数を引いたもので、入所を希望する全員が入所できるようにするのが行政の本来役割。また、営利目的の株式会社等が運営する保育園が全体の26%であることや、市の指導・監督体制が足りない、定員増でのつめこみ保育などの問題がある。保育の量と質の両方が満たされるよう、引き続き頑張る。

待機児童数等の状況（各年４月１日現在）

区分	2010年	2011年	2012年	2013年
就学前児童数	193,584	192,861	191,770	190,106
保育所申込者数(A)	41,933	44,094	45,707	48,818
入所児童数(B)	38,331	40,705	43,332	47,072
入所保留児童数(C)＝(A)－(B)	3,602	3,389	2,375	1,746
横浜保育室等入所数(D)	1,020	1,136	1,117	877
横浜保育室	989	1,028	965	716
家庭的保育事業	19	52	59	84
幼稚園預かり保育	12	23	5	3
事業所内保育	－	0	19	22
一時保育・乳幼児の一時預かり施設	－	33	69	52
育休関係(E)(＊１)	－	277	186	203
主に自宅で求職活動されている方(F)(＊２)	－	－	213	100
特定保育園のみの申込者など(G)(＊３)	1,030	1,005	680	566
待機児童数(H)＝(C)－〔(D)+(E)+(F)+(G)〕	1,552	971	179	0

＊１：４月1日に育児休暇を取得されている方。
＊２：ご自身等でお子さんをみながら、インターネットなどを利用し、在宅で職を探している方。
＊３：１か所しか申し込んでいない方、２か所以上申し込んだ方で内定した保育所があるにもかかわらず、第１希望等の保育所しか入園を望んでいない方など。　（横浜市発表資料より作成）